

先日、素盞雄神社に南千住三ノ輪地区の神社祭礼総代の会が開かれました。その席で宮司（神社の造営や収税、祭祀、祈祷に従事する人）から、「近ごろ、自分の住む土地の氏神様の大切な祭礼であることを理解せずに単なるイベントの一つと考えて祭りに参加されている方がいらっしやる。祭礼の打ち合わせ会または祭礼の当日での集まりの場でも、祭礼が盛大に行われるのかを一言話して頂きたい」と話がありました。

私は、いつも他地域から参加（町内で御輿を担ぐ人を集められないため、よそから担ぎ手を集める）される方々の前での挨拶では「我が町（土地）の人々が安心して暮らしていけるよう災いを被い幸せをもたらす祭事である。」と話します。

神殿にて厳肅に滞りなく祭事が行われ、町内を渡行する御輿の内には、その形代（神霊がのり移ったもの）が入ります。形代の入った御輿が町内の氏子の皆様の厄（苦しみ災い、災難）を祓ってくれるのです。

☆六郎が語る☆  
南千住一口話  
第198回

今年の祭は大祭です。三年に一度、町内御輿の他に神社御輿が出て、南千住、三ノ輪、三河島、町屋地区を巡行します。本年は六月一日、二日、三日と行われます。三日午後からコツ通りにて宮入りの御輿ぶりが見られます。ぜひ、大勢の方に集まっていただきたいです。私も二日早朝の宮出しから参加します。

神社御輿は、千住間道の都電踏切前にて三河島に引き渡し、翌日の昼に三ノ輪の大関横丁（明治通り側）にて南千住が引き継ぎます。二丁目を回り、日光街道、仲通り、コツ通りを巡行して素盞雄神社へ入ります。神社御輿は、町内から選出された白丁の袴天を身に着けた人たちが担ぎます。名誉あることです。事故なく、りっぱな祭礼になることを祈ります。

コツ通り 杉山六郎

吉田喜一教授の  
ものづくり工学便り



確定申告に行つて

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

先月、2017年の確定申告に行つてきました。そのために、去年の社会保険料や医療費の支出の整理をしました。

国民健康保険料は約43万円でした。介護保険料は、年金から天引きですが約10万円でした。生命保険 都教職員共済)に入っているのですが、約20万円です。支出の合計は約73万円でした。

医療費は、入院もしたので約35万円でした。あわせて100万円を超える支出でした。国民健康保険43万円の高さに、今更ながら驚きました。これでは払えない方が続出するのも当然だと思えます。

私の場合、年金以外の収入がまだあるからどうにかなっています。大学や高専の非常勤講師手当です。今大学・高専はどこでも、非常勤講師も70歳定年です。来年度から収入は年金だけです。生活の仕方を転換しなければいけないと思っています。



「買い物難民」は身近な話題です

消費生活  
アドバイザー  
佐藤祐一郎

こんにちは。メガネのサトウ4代目です。当店は初代の創業以来、メガネの専門店として営業しており、時計は一度も扱ったことがないのですが、近年「腕時計の修理・電池交換」のお問合せが増えてきたように感じます。背景には、時計店の減少があるようで、荒川区内でも営業されている時計店はごく僅かになってしまいました。

街の時計店は受難の時代だと思われれます。一定の利益が見込める新品の時計販売は大型量販店やネット通販に押されています。安価な（＝修理・電池交換するほどの価値がない、使い捨てに近い）時計や、太陽電池内臓で電池不要な時計が増えました。携帯・スマホの普及で腕時計をしない人も増えているようです。もはや従来の時計関係だけで生計を立てていくことが厳しくなってしまうたのかもしれないですね。これでは、後継者や新規参入など望むべくもないような気がします。

今、過疎地や高齢化が進む地域などで、徒歩圏内にあった店舗が閉店することで、日常の買い物に困難になる「買い物難民」が社会問題になっていますが、それを連想させる出来事のように思います。「乗って残そうローカル線」ではないですが、無くなつては困る身近なお店は積極的に利用したいところですし、お店の側もお客様に喜ばれ、他店よりも選ばれるようなサービスの努力や、時代に合わせた変革を忘れてはならないと思えます。

■メガネのサトウ■ 春の大感謝セール実施中  
南千住5丁目43の13 【城北信金並び】  
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のご案内【土休日は営業します】★

3月：30（金） 4月：5（木）、10・17（火）

★営業時間の案内★

平日（月～金）：AM 9時～PM 6時30分

※3月27（火）のみ、PM 1時から営業します。

土休日：AM 10時～PM 5時